

中 岳



在宅訪問歯科協力医研修会 ビ ア パ ー テ ィ ー



医師との連携を基に在宅診療の一層の発展を !!

——在宅訪問歯科協力医研修会開催——

6月29日(月)に県歯科医師会館において、標記研修会が在宅協力医130余名の参加で行われた。

平成3年7月よりスタートした熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業も本年度で8年目を迎えようとしております。本事業を開始した時には熊本市の寝たきり者数は529名(H4.4月1日)でしたが、現在では1,171名(H9.4月1日)に増加しており、高齢化が著しく進んでおります。このような社会情勢の中で我々歯科医師及び歯科医師会が熊本市民の在宅寝たきり者の方々にどの様に対応出来るか再度見直しを計り、又現在までの在宅治療に関しての問題点、今後の課題等を検討する為に今回の開催となりました。

関会長の挨拶に始まり、菅原副会長の事業報告となり、過去7年間の実績報告及び、この在宅診療の実施手順の再確認及び、今後介護治療保健も導入され、当然増えるであろう口腔ケアに関する訪問衛生指導についての歯科衛生士とのパート契約についての説明をして頂きました。

続いて在宅協力医及び訪問衛生指導を行っている歯科衛生士の症例報告に移り、実際現場に携わっての困難さ、問題点等を話して頂きました。



前列右 上別府敏之先生 左 尾上 宏先生
後列右 淀川尚子歯科衛生士(伊東歯科勤務)
後列左 本田志保子歯科衛生士(在宅専任)

——上別府敏之先生——

在宅診療を必要とする患者は常に全身的疾患を持っている為、主治医と密に連絡を取り十分に問診する事が不可欠である。

——尾上 宏先生——

何回も在宅治療を受けた人で抜歯等の処置を行っていても、その処置時の患者の全身状態を十分把握してないと重篤なケースになる場合がある。

——淀川尚子歯科衛生士(伊東歯科勤務)——

歯科衛生士が口腔ケアを行う場合でも、人はもとよりその家族の方々と十分なコミュニケーションを取る事により事故やトラブルを未然に防ぐ事ができる。

——本田志保子歯科衛生士(在宅専任)——

健康な患者さんにとってはささいな症例でも、寝たきり状態にある方々にとっては義歯が当たって食べられないだけでも命にかかわるということを認識して欲しい。

そして最後にこの在宅歯科診療に関する社保の説明及び事前に質問事項がきていた件に関し、稲葉社保担当理事より説明を行って頂き10時過ぎに終了致しました。

年々寝たきり者の数は増え、我々が訪問治療を行う機会もどんどん増加しております。

幸いにも現在まで大きな事故に至ったケースはありませんが、協力医の先生方、今後も主治医との連絡を十分に行い、家族とのコミュニケーションを計り、診療に際しては細心の注意を払うようお願い致します。

又、今回は(株)モリタより在宅コーナーを展示し、口腔ケア用品も進呈して頂き、誠にありがとうございました。



(専務理事 古賀 明)

中 岳



在宅訪問歯科協力医研修会 ビ ア パ ー テ ィ ー



目

次

巻頭言	矢 毛 石 豊	1
在宅訪問歯科協力医研修会		2
第3回学術講演会		3
夏季親睦会「ビアパーティー」		4
委員会だより		8
公衆衛生委員会、医療管理委員会、学校歯科委員会		
Study	高 松 尚 史	10
三歯会懇話会		13
スタディグループ紹介「三水会」		14
本日休診	奥 田 良 樹	15
思い出の旅	井 芹 明 洋	20
	尾 崎 元 則	21
	立 花 泰 裕	23
新入会員紹介		25
スポーツの広場		26
会務報告		27
協同組合だより		29
編集後記		

表紙の写真

Bluegrass Comingの演奏
ービアパーティーー

巻 頭 言

更なる医療の 発展を目指して



矢毛石 豊 常務理事

第50回保健文化賞を熊本市の医療に携わる14団体で組織する熊本市保健医療専門団体連合会(医専連)が受賞することに決まりました。これは医専連が相互の連携を深めながら地域医療のシステム化推進の母体となり、また地域医療の水準の向上と充実を図り、地域住民の健康と福祉の増進を推し進める活動が全国的に評価されたものであります。

個々の団体の力は弱くても、同じ目的意識を持つ団体がお互いの立場を尊重しつつ連携することにより、不可能を可能にする力を持つ事が出来る事を医専連は示唆していると思います。

日本の医療費は、国家財政面だけを基本としたとしか思えない様な医療保健制度の改革で、老人医療の1割負担などを含め、大幅な患者負担増加が計られており、また規制緩和の名のもとに「企業の病院経営規制の撤廃」が叫ばれたりしております。これは企業による病院経営の是非について政府の行政改革委員会のなかの規制緩和小委員会で検討され、平成8年12月の第2次意見書では「幅広く関係審議会の議論を経ながら、医療提供主体や医療提供体制の在り方の中で企業による病院経営の問題も含めて検討すべきである」と指摘、企業による病院経営に含みを持たせた意見書が提出され、また平成9年には日経連で「民間企業に対する病院経営参入規制は緩和ないし、撤廃すべきである」と結論づけた報告がなされております。

このことは、歯科・医科共個人経営の重大な危機状態に直面しはじめているという事は言うまでもありません。

これからの国民の医療・福祉、また私達の医療活動を守る為にも会員皆様の団結により組織がより強固な一枚岩となることで市歯科医師会が取り組んでいる歯科保健・医療・福祉に対する事業がさらに発展し、ひいては会員の地域に根ざした歯科医療がさらに充実したものとなることを確信致しております。

会としましても関係機関との連携を密にし、皆様方の期待に添う様努力する所存です。

医師との連携を基に在宅診療の一層の発展を !!

——在宅訪問歯科協力医研修会開催——

6月29日(月)に県歯科医師会館において、標記研修会が在宅協力医130余名の参加で行われた。

平成3年7月よりスタートした熊本市在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業も本年度で8年目を迎えようとしております。本事業を開始した時には熊本市の寝たきり者数は529名(H4.4月1日)でしたが、現在では1,171名(H9.4月1日)に増加しており、高齢化が著しく進んでおります。このような社会情勢の中で我々歯科医師及び歯科医師会が熊本市民の在宅寝たきり者の方々にどの様に対応出来るか再度見直しを計り、又現在までの在宅治療に関しての問題点、今後の課題等を検討する為に今回の開催となりました。

関会長の挨拶に始まり、菅原副会長の事業報告となり、過去7年間の実績報告及び、この在宅診療の実施手順の再確認及び、今後介護治療保健も導入され、当然増えるであろう口腔ケアに関する訪問衛生指導についての歯科衛生士とのパート契約についての説明をして頂きました。

続いて在宅協力医及び訪問衛生指導を行っている歯科衛生士の症例報告に移り、実際現場に携わっての困難さ、問題点等を話して頂きました。



前列右 上別府敏之先生 左 尾上 宏先生
後列右 淀川尚子歯科衛生士(伊東歯科勤務)
後列左 本田志保子歯科衛生士(在宅専任)

——上別府敏之先生——

在宅診療を必要とする患者は常に全身的疾患を持っている為、主治医と密に連絡を取り十分に問診する事が不可欠である。

——尾上 宏先生——

何回も在宅治療を受けた人で抜歯等の処置を行っていても、その処置時の患者の全身状態を十分把握してないと重篤なケースになる場合がある。

——淀川尚子歯科衛生士(伊東歯科勤務)——

歯科衛生士が口腔ケアを行う場合でも、本人はもとよりその家族の方々と十分なコミュニケーションを取る事により事故やトラブルを未然に防ぐ事ができる。

——本田志保子歯科衛生士(在宅専任)——

健常な患者さんにとってはささいな症例でも、寝たきり状態にある方々にとっては義歯が当たって食べられないだけでも命にかかわるということ認識して欲しい。

そして最後にこの在宅歯科診療に関する社保の説明及び事前に質問事項がきていた件に関し、稲葉社保担当理事より説明を行って頂き10時過ぎに終了致しました。

年々寝たきり者の数は増え、我々が訪問治療を行う機会もどんどん増加しております。

幸いにも現在まで大きな事故に至ったケースはありませんが、協力医の先生方、今後も主治医との連絡を十分に行い、家族とのコミュニケーションを計り、診療に際しては細心の注意を払うようお願い致します。

又、今回は(株)モリタより在宅コーナーを展示し、口腔ケア用品も進呈して頂き、誠にありがとうございました。



(専務理事 古賀 明)

「審美補綴における歯肉と補綴物の接点」

7月4日(土)午後2時30分より、熊本市歯科医師会主催の学術講演会が県歯3階ホールに於いて、東京都で開業の行田克則氏を講師にお迎えし、標記のテーマで行われた。

まず、関会長が松田聖子の結婚により「審美歯科」という言葉が世間に注目されている時期であり、歯科医療の付加価値を世間に認めてもらう良い機会にしてほしいと挨拶され、その後講師紹介が行われた。



講師の行田先生は日大歯学部大学院(クラウンブリッジ)をご卒業後、東京世田谷区で開業されており現在審美補綴の分野において日本で最も注目されている一人であり、雑誌への論文投稿や講演にご活躍されております。

当日は、暑い土曜の午後にもかかわらずスタッフも含め100名を越す出席があり、熱気溢れる講演会となった。

講演の主な内容は前歯部の歯冠修復において、術後の患者の口元に自然感を与えるためには歯の形態、色調、配列を口腔周囲組織と調和させなければならない。注意を怠れば歯頸線の不揃い、歯間乳頭の欠落、クラウンマージンの露出をきたし審美性を損なうことになる。

それを防ぐ為には、修復処置の前に十分な術前の診査診断を行い、修復物と接する歯肉の不調和を改善しておく事が重要となり、又、その

後の正確な支台歯形成、印象採得が重要なポイントとなる事をわかりやすく説明された。

それに続き、インプラントを含む全顎補綴の症例を呈示されインターディシプリナリー(歯周、補綴、矯正治療を包括的に行う概念)の観点からの治療について、考え方や注意点を詳しくお話し頂いた。

2時間半を越す講演となったが術者のオリジナルな治療概念など目新しい内容が多く、なによりも症例の美しさ歯肉の自然観に感銘を受け、時間の経つのも忘れさせられた素晴らしい講演であった。

現在、歯科治療を受けた7割が良く咬めない、見た目が悪いなどの不満を持っているとの調査結果があります。日本の歯科治療も変革期にきており、今後はこのような不満を持たせない、付加価値を持った医療を要求される時代となる事は間違いありません。

今回は「審美歯科」と言う新しい言葉が話題になっているさなかでもあり、受講された先生方には役に立つ情報が沢山あるタイムリーで有意義な講演会となりました。



(学術 有吉 洋)

◆熊本市歯科医師会親睦会◆

「夏だ!ビールだ!元気に乾杯!」(ビアパーティー)開催



6月27日(土)、午後6時より交通センターホテル「菊の間」において、熊本市歯科医師会の平成10年、夏季親睦会が開催されました。

当日は、梅雨明けの真夏を思わせるような強い日差しが照りつける、ビアパーティーには絶好の日和でした。

バレーボール大会、ボウリング大会と続いて来た親睦会ですが、少しでも多くの会員の先生に参加して頂こうということで、今年は新たな企画としてビアパーティーが開催されました。

まず主催者を代表して関会長の挨拶に始まり、続いて熊本県歯会会長鬼塚義行先生、鹿児島大学歯学部第Ⅰ口腔外科教授杉原一正先生の2名の来賓の先生にお言葉を頂戴致しました。

続いて大関英明先生の御発声で“乾杯”が行

われると会場内は一気に盛り上がりました。

当日はバンドの“Bluegrass Coming”の方々に友情出演して頂きました。メンバーの鬼塚啓史先生は市歯科医師会の会員であり、そのすばらしい演奏に会場からはたくさんの拍手が送られました。

ビールがどんどん飲み干されていく中、当日の催しものである“利き酒大会”が始まりました。酒と焼酎の銘柄、原料を当てて頂く企画でしたが、上戸の先生、下戸の先生、回答用紙を首をかしげながら出す先生、自信たっぷりに出す先生、さまざまでしたが全員の先生に参加して頂きました。

団体戦では、川尻支部の優勝、個人戦ではボウリング実力者の成松賢二先生が見事全問正解にて、ここでも実力者の本領を発揮されました。

ひきつづきビンゴゲーム大会で会場は大いに盛り上がり、続いてのカラオケ大会では、北部2支部の小島博文先生をトップバッターに「のど自慢」の先生方が次々に登場され、会場からは盛んな拍手が送られていました。

カラオケ大会の特別賞では、まさに感情たっぷりに「女の気持ち」を唄われた林正之先生が受賞されました。

表彰式では、大会を大いに盛り上げた先生方に、関会長より記念品の贈呈があり、宴もたけなわ、まだまだ飲み足りないという顔をなさっている先生もいらっしゃる中、菅原副会長の元氣いっぱい万歳三唱で閉会となりました。

出席して頂きました先生方、本当にお疲れ様でした。

【結果】

■利き酒大会

(個人の部)

- ・優勝 川尻 成松賢二 (満点)
- ・準優勝 中央 緒方 進
- ・3位 川尻 三角洋介

(団体の部)

- ・優勝 川尻
- ・準優勝 北部2
- ・3位 北部3

■ビンゴゲーム

- ・優勝 南部 岡田知久
- ・準優勝 東部3 石川香織 (西日本病院)
- ・3位 東部3 合沢康生
- ・4位 東部3 西濱亮介
- ・5位 北部3 谷口守昭
- ・6位 東部3 内田裕治

■カラオケ大会

- ・特別賞 西部 林 正之
- ・準優勝 中央 緒方 進
- ・3位 川尻 三角洋介

(団体の部)

- ・優勝 川尻

こぶしがきいてます



「女の気持ち」が伝わります。



スナックより気分がイイソ

代診制度でお世話になっている
杉原一正先生



鬼塚県歯会長のあいさつ



紅一点、どうしても視線は
女性ボーカルに集中!



日頃の練習の成果が。
(中央が鬼塚ミスターベースマン)



うん、うん、この味は・・・。



はい、並んで、並んで。



酔って、もうわかりません。



ピンゴ!!ピンゴ!!
だんだん気合いが入ります。



熱唱!!



感激した皆さん!



ドウダ! 魅惑の三重唱。



ハイ! こっちむいて



話もはすみます。



商品券でした。



みんな、飲んでる?



夏だ! ビールだ! バンザイ!



(厚生 寺本豊徳)

委員会だより

公衆衛生委員会

無料歯科相談実施

6月8日(月)熊本市役所1階ロビーにて「無料歯科相談」が行われた。これは熊本市及び熊本市歯科医師会の主催によるもので、熊本市民を対象として口腔衛生の啓蒙を図るために毎年行われている。



今年も熊本市歯科医師会の公衆衛生委員会と熊本県歯科衛生士会、また熊本市からは健康増進課、各保健所、保健センター担当者等の協力の下、各担当歯科医師が訪れる市民の口腔内検診や質問などに答え、さらにアドバイスも行った。

相談者の年齢は中高年者が多く、義歯や歯周病に関する質問が多いようであった。相談コーナーの他に衛生士会や各保健所担当者によるブラッシング指導コーナーもあり、指導を受けている相談者は皆、熱心に耳を傾けていたことが印象的であった。

また口腔内を写せる小型CCDカメラなども設置され関心と呼んでいた。

当日訪れた相談者は143名に及び市民の口腔衛生への関心の高さがうかがわれた。

(黒木幸一郎)

医療管理委員会

「コミュニケーションのある 歯科医療をめざして」

——医療苦情、事故をなくすために——

7月23日(木)県歯会館にて標記テーマで講演が行われました。医療対策第一委員会前野正春理事からは「具体的な症例および事例について」講演され学ぶことの多い症例を多数ご紹介頂きました。同委員会遠山啓介委員長からは下記の対応マニュアルについての説明などを頂きました。熱演のため長時間の講演となり日々の診療に対しての心構えについて再度考え直すきっかけになったものと思います。



前野正春理事



遠山啓介委員長

医療トラブル予防対策10ヵ条

1. 予診、問診を十分活用し主治医との連絡を確実に
2. 患者の意志、承諾を確認する
3. 領収書は必ず発行
4. 不用意な発言をしない
5. カルテ記載及びX線フィルム、スタディーモデルの保管を確実に
6. 前医批判は絶対禁忌
7. 日頃から研鑽を
8. 常に偶発事故に対応できる体制をとっておく

委員会だより

9. 仕事範囲の再考
10. 思い込み診療は禁忌

医療トラブルが発生したら

1. もし不幸にして、医療トラブルが発生したら、可及的速やかに県歯科医師会医事処理委員会へご連絡下さい（パネルを制作しておくとい）
2. 関係者への発言は慎重に言葉を選んで下さい
3. 独自の自己処理はしないほうが賢明です
4. 証拠となる書類物件、領収書などの整理保全（特に緊急時の対応内容のカルテへの記載）
5. 医療事故委任状及び報告書の提出（事故発生後30日以内に県歯へ提出）

（鳥取孝治）



学校歯科委員会

第19回 熊本市学校保健会総会・合同研修会開催

6月26日（金）午後1時より、熊本産業文化会館7階ホールにおいて、熊本市学校保健会と熊本市教育委員会の主催で熊本市学校保健会総会ならびに合同研修会が開催されました。

学校保健会総会では、平成10年度熊本市学校保健功労者の表彰が行われ、熊本市歯科医師会より熊本市学校歯科医を15年以上務められた5人の先生方が表彰されました。先生方の氏名は次のとおりです。

河野哲朗先生、村上雄二先生、村上辰郎先生、古賀明先生、蔵田幸一先生。

先生方の長年の勤務、大変ご苦労さまでした。これからもよろしく御願い致します。

次に午後2時10分より学校保健合同研修会として講演会が開催されました。

講演会の演題は

「スクールカウンセラーからみた子供たち」
—その理解と対応について—

というもので、医療法人横田会向陽台病院臨床心理士植村照子先生が講演されました。

講演内容は、現在の小学生や中学生の悩める姿を解りやすく説明していただいた。

小学生では個々の成長のスピードに差がありすぎるために落ちこぼれの問題が発生するということや、中学生では親の押さえが効かない年となるところに問題があるというような指摘があり、学校教育の難しさを浮きぼりにしたものでした。

（斉藤 朗）

プロバイダ再考 ーインターネットの使用をふまえてー

高松 尚史

歯科という閉鎖された環境にいる私たちは、一歩間違えると”井の中の蛙”になりやすい。しかし、社会の変化は著しく、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ、あるいはインターネットなどからの情報は、私たちが好むと好まざるとにかかわらず私たちや患者に伝わっていく。環境ホルモンがそのいい例であり、私たちはマスコミや患者サイドに一步遅れをとった感は否めない。情報のスピード化はコンピューター技術が不可欠であり、これからの世界の大きな流れはコンピューター社会へと進んでいる。現在、日本のパソコン売り上げはアメリカに追いつきつつあり、小学校でのパソコン導入など周辺環境の整備は始まっている。日本人のパソコン所有台数も増え、ここ数年での携帯電話の普及をみるとパソコンの普及や必要性が私たちが思う以上に早いスピードで進む可能性もある。つまり、私たちもその機械に触れる必要性に迫られているとも言えよう。

今回、学術委員会の今期のテーマでもある“情報化への対応”をふまえ、今、急速に必要性が増すパソコン、特に“情報どこでもドア”としてのインターネットについて考え、そのプロバイダについて自分なりに再考してみようと思う。

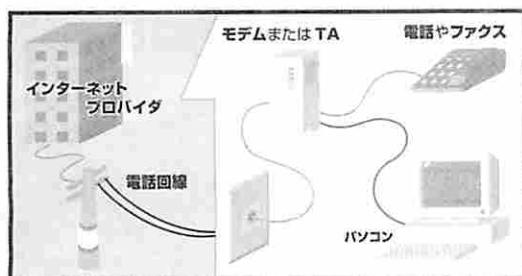
ーインターネットー

インターネットは、1969年アメリカ国防総省により、ARPANETがネットワークの研究の



ためにスタートしたのが始まりであり、現在全世界のプロバイダや企業、大学、研究機関などのさまざまな組織が、お互いに接続された巨大なネットワークを形成している。つまり、電話回線によりいろいろな組織に瞬時に接続できるわけである。インターネットでは、いろいろなサービスが利用できるが最も代表的なのが、WWW (World Wide Web) と電子メール (E-mail) である。いずれも情報をやりとりする手段にすぎないのであるが、先に述べたように携帯電話やFAXが企業や個人に普及している現在、このWWWや電子メールがそれにとって変わる日も遠くないはずである。ちなみにアメリカではすでにFAX、手紙での文章のやりとりは減少し、電子メールが多くなっているそうである。また去る7月25日、Windows98日本語版が発売された。現在のパソコンでの圧倒的シェアを考えると、このソフトの動きはこれからの世界の動向でもある。Win98では、その機能上インター

ネットが不可欠になっている。つまり、これらのコンピューターに、インターネットが必要であると言えよう。また、先日ある民放のTV番組が1日だけホームページを開設したら今までで一番多いアクセス数を記録したという。いかに、TVの視聴者がインターネットを行っているかの現れでもあろう。



ープロバイダー

さて、インターネットに接続するには、プロバイダといわれる接続業者が必要である。全国に山ほどこのプロバイダが存在し、接続料金がそれぞれ異なる。もちろん、いろいろなサービスも違うのであるが、なかなかわかりにくい。私自身も含めて、また新しくインターネットを始める先生にはなおさら難しい。また、何気なくプロバイダを選択したが、その選択に適当さがある。私もそうである。そこでプロバイダについて少し整理してみよう。

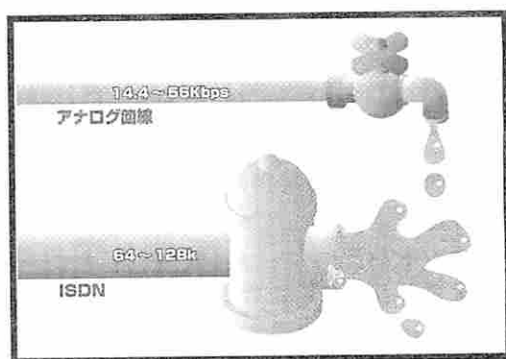
まず、プロバイダへは電話により接続するので、その業者（アクセスポイント）が近くにある方が電話料金がかからない。

次に料金。接続料金には固定制と従量制がある。また、月の決められた時間内であれば固定制で、その時間を超えると従量制という固定制+従量制がある。その他、入会金が必要なプロ

バイダもある。

また、接続速度も重要である。膨大な情報をやりとりするわけであるから、情報の移動スピードは速い方がよい。もちろん、使うパソコンにもその性能が求められるのはもちろんである。接続速度は、33600(33.6k)bps、56000(56k)bps、ISDN(64kbps)などがあるが、数字が多いほど移動情報が多いので十分検討する必要がある。

最後にそれぞれのサービスがある。プロバイダによっては、自分のホームページを持ちいろいろなサービスを行ったり、24時間対応でサポートを行ったり、ホームページを作成できたりなど様々である。また、その他にも、バックボーン回線の太さや海外ローミングサービスなどもあるが、私としては実質上選択基準は上の3つでよいのではないかと思います。



固定制

月単位、年単位で定額料金。

従量制

何円/分などで時間により異なる。

バックボーン回線

プロバイダとインターネットの接続拠点を結んでいる回線。この回線の速さでアクセス（接続）速度に差がでることもある。

Study

海外ローミングサービス

海外のプロバイダと提携して海外でのアクセスポイントを提供してくれるサービス

調べたところ、熊本市にはプロバイダのアクセスポイントが36カ所ほどある。大きな業者から小さな業者まであるようだが、その選択は先に述べた様に難しい。接続料金については、固定制14カ所（¥12000～¥30000／年、¥1950～¥5000／月）、従量制10カ所（¥10／分～¥10／3分）、固定制＋従量制12カ所（固定制の1ヶ月における最大時間5時間、10時間、15時間、20時間など＋従量制）などがある。接続速度は、33.6Kbps、56Kbps、ISDNすべてがそろっているが業者によって、対応が異なる。

NTTへの電話代もばかにならない。プロバイダのアクセスポイントまでの電話代は基本的には、NTTに支払うことになる。現在市内の通話は、¥10／3分、¥10／4分（夜11時以降）である。通話料が多い人は、テレホーダイ1800やテレホーダイ3600を使う手もあるが、いずれも1ヶ月の通話料が相当多い場合に有効である。

以上をふまえた上で、プロバイダの選択の方法がおぼろげながら浮かんできた。

- ①インターネットの利用方法を明かにする。
- ②1ヶ月の利用時間を再考する。
- ③プロバイダの選択

テレホーダイ1800

¥1800／月で、23時以降、指定した局番に無制限にかけられる。12時間／月より多く通話したときに有利。

テレホーダイ3600

¥3600／月で、23時以降、指定した局番に無制限にかけられる。24時間／月より多く通話し

たときに有利。

上記の様に分けて考えるとすっきりする。

a) ある程度インターネットを利用する

- ①WWWや電子メール、ホームページ作成などある程度利用したい。
- ②診療で忙しい中、1日のインターネットに裂く時間を考える。
- ③テレホーダイを必要とするほど時間を使うなら固定制、10時間／月前後なら固定制＋従量制、などの選択もある。

b) とりあえずインターネットをしてみたい

- ①初めて、あるいは利用方法がわからない
- ②ほとんど時間を使わない。
- ③体験入会制度を利用したり、ダイヤルQ2サービスでアクセスする。また、従量制を選択し、使わなければ無料になる。

一終わりに一

以上のように数あるプロバイダの中から、最良の業者を選択するのが難しい。しかし、よく比較してみると私たちが利用する範囲では、特に高額な料金体系を選択しない限り、どれでも似たり寄ったりのようである。要はいかに利用するかであり、有効に利用しパソコンに使われないようにしたい。今年度より熊本県歯科医師会、熊本市歯科医師会ともにホームページを開設し、先の情報網に否応なく組み込まれることとなった。

今回、プロバイダを含めて、インターネットについて調べ、考えてみると自分が思っている以上に社会の変化が速く、柔軟な思考、対応が求められるように思われる。しかし、膨大な情報の中で必要なものだけをチョイスするのは、本当に大変だと思う。

三歯会懇話会開催－歯科界一丸となって現状を打破しよう－

6月25日(木)アークホテルにおいて三歯会が開催されました。

歯科技工士会からは吉見会長ほか8名、衛生士会からは本田副会長ほか2名、本会からは関会長はじめ学術、学校歯科、広報、医療管理の各委員会から出席致しました。



藤波医療管理理事の開会の辞の後、関会長から今日の歯科界の混沌とした現状を打破する為に一丸となって諸事取り組む旨の挨拶があり、次いで吉見会長、本田副会長の挨拶の後出席者の自己紹介を行い懇話会が始まりました。



懇話会の中で歯科技工士会からは県技工士会の植埜会長の紹介と、無資格者の技工作業従事問題及び経営の厳しさが報告され、衛生士会からはパート雇用者の雇用条件の明確化と健康診断を受診できるようにと要望されました。また衛生士不足の解消策として既婚者の登録の促進等の話題がありました。

市技工士会は新執行部での活動が始まり又介護保険法の実施など新しい動きの中、より一層の踏ん張りが求められそうです。

良いスタッフの安定定着のためには、雇用条

件の明確化も必要となります。

●パートタイマー雇用上の主なチェック項目●

雇用期間	期間を定める場合は1年を越えない期間で締結する。ただし、契約を更新することができる。
労働時間	1日8時間、週40時間までが基本となる(就業者9名以下の場合週46時間)。1日8時間を越えて労働させる時間に対しては、割増賃金を支払う必要がある。
賃金	最低賃金を下回ってはならない。又通常の労働者との均衡を考慮するように努める。
所得税	パートタイマーの年間給与が141万円以下(平成10年度)なら本人に所得税がかからず、又、配偶者の所得から配偶者控除を受けることができる。
健康保険 厚生年金 保 険	通常の労働者と比べて労働日数、労働時間がともに4分の3以上の場合には加入しなければならない。 歯科医師国保には時間の決まり無し。主人の社保(扶養)に入る場合130万円以下(平成10年度)
労災・雇用 保 険	①労災保険は、強制加入 ②雇用保険 ・ 1週間の所定労働時間が20時間以上 ・ 1年間以上引き続き雇用される見込み ・ 年収が90万円以上
休 日	毎週1回又は、4週に4日の休日を与えなければならない。
休憩時間	労働時間が6時間を越えるときは45分以上、8時間を越えるときは60分以上必要
年次 有休休暇	所定労働日数が週5日以上もしくは週所定労働時間が35時間以上の場合、6カ月の継続勤務で8割以上の出勤をすれば10日の有休休暇を与える必要がある。それに満たない労働時間もしくは労働日数の場合は、上記に比例した日数の有休休暇を与える必要がある。

(医療管理 尾上 宏)

スタディーグループ紹介

「熊本三水会」



開催日時／例会第三水曜日

特別講演会・研修会（随時）

会場／熊本デンタルフォーラム

会費／会員15,000円（月額）

オブザーバー制度有り

入会方法／会員2名の推薦を要し、幹事会に諮り、3カ月のオブザーバー期間を経て、全会員の賛同を得て入会する。

連絡先／東 克章

熊本市北千反畑町1-1

TEL 096-343-3357

FAX 096-343-3357

＜平成10年度活動＞

1 三水会の活動を広く知ってもらうため、会員外の先生方の参加を募った。

①臨床編として、補綴、咬合、審美治療で著名な内藤正裕先生（東京都開業）をお迎えし、3ヶ月6日間の講演会を開催した。

②基礎編として、高橋和人先生（神奈川歯科大学口腔解剖学教室教授）に「歯根膜および歯肉の血管網と歯科臨床」というテーマで、1日じっくり御講演願った。

③スタッフ編として、11月に衛生士のための1日コース（講師・上田幸子）を企画している。

会長／東 克章 代表／大関英明

2 全会員1年に1回当番で、ケースプレゼンテーションすることを義務付けており実行している。

＜発会主旨＞

熊本県歯科三水会の発足は35年前に遡ることができる。発足当時は戦後の復興の兆しが社会には到来していたが、歯科界はやっと国民皆保険制度ができあがったばかりで社会の活発な動きとは大きな隔たりがあったようである。特に医療管理、補綴部門では米国の近代歯科に大きく遅れていたことから柄原一広先生（故人）、大関英明先生、小堀大介先生（故人）を中心として有志の方が集まり産声をあげたと聞いている。

補綴、エンド、矯正、ペリオ、医療管理の勉強を続け、会員も徐々に増加し25周年記念会（昭和63年）、30周年記念会（平成5年）にはその成果を発表することができた。

しかしながら社会の変化、歯科医療の多様化、会員の世代交代などから会の方向性など内部にも激しい変化が起こったが、民主的、かつ協調的な会員の精神で落ちついた活動を持続することができている。

会の運営は特別講演会（研修会）とケースプレゼンテーションを中心として会員同士の切磋琢磨をモットーとしているが、夫婦の集いや親睦旅行、例会後の食事会も合わせて行っている。歴史ある会だけに会員の責任感と誇りが大切にされている。さらに、飛躍の新たなページを飾れるよう新入会員の入会を願っている。

本日休診

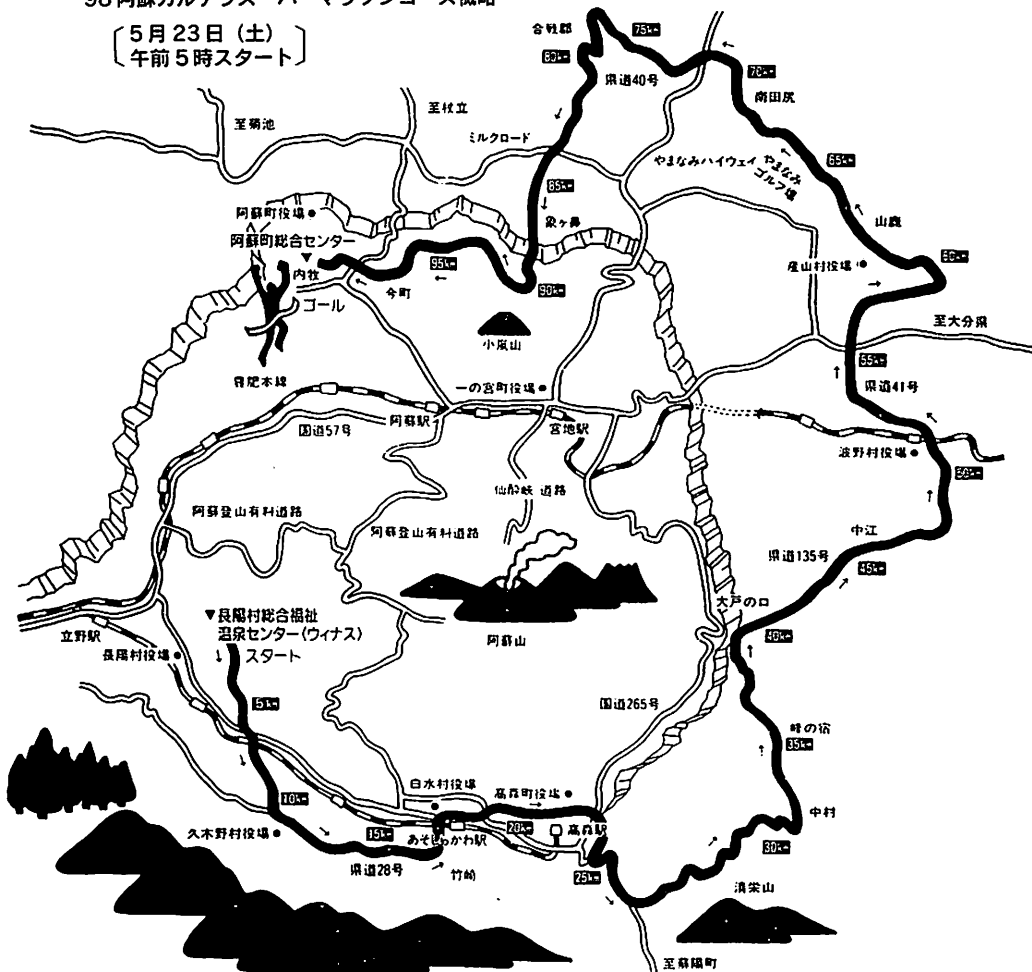
阿蘇カルデラ 100km を走る

『阿蘇カルデラスーパーマラソン奮闘記』

東部3支部 奥田良樹 (52才)

'98 阿蘇カルデラスーパーマラソンコース概略

〔5月23日(土)〕
〔午前5時スタート〕



走るだけなら犬でも走る
歩くだけならヒヨコでも歩く
生きているだけならミミズだって生きている

4月の始めから続いた左膝の痛みは、約10日間走る事を中止し、スイムとバイクのトレーニングに変えた為もあり、5月の中頃には痛みも出なくなり、少しずつ走れるようになっていった。

5月はラン347km、バイク461km、スイム10.6

kmと今年一番のハードな練習をクリアーした。

第1回大会から連続14回出場完走という大記録?!のかかる天草国際トライアスロンも、ドロナワの練習だったスイムとバイクは快調。しかしランはスピード練習が全く出来なかった為もあり、10kmを60分30秒もかかってしまったが、トータル3時間0分18秒で無事クリアーし、その勢いで6日後の阿蘇カルデラスーパーマラソン100kmに突入していった…。

波野のウゲイスは、コー、コンジョ(根性)、コンジョと鳴き、内牧のカエルは、イケイケ、ゴーゴーと鳴いていた。阿蘇谷を吹き抜ける風は、優しく背中を押し続けてくれた。そして、やっと、やっと関門時間ギリギリで100kmを走破出来た…。あえぎ続けた時間は13時間14分。今年も阿蘇の煌燦像は静かに私を見守っていてくれた。

〈私のコース戦略〉

- ☆痛み止めの薬は持って行くが、左膝に痛みや腫れが出たら即リタイヤーする事。
- ☆各ポイントの通過予測タイムをあらかじめメモ用紙に書き込んでおき、本番の時に通過時間をチェックしながら走る事。
- ☆使い捨てカメラを持参しスタート前からゴールまでの主なポイントで写したり写して貰ったりしながら行く事。
- ☆100kmの長距離を走るのだから、痛い苦しいのは当然とわりきり、景色を楽しみボランティアの人々と話し、同行のランナーと出来るだけ話をしながら走る事。
- ☆50kmまでは9割の力で走り、後は2.5km毎にエイドがあるので、とにかく2.5kmのレースと思って走る。名付けて尺取虫走法。
- ☆大会当日の車での移動は気がせくので、前日からゴール地点の内牧に泊まる事。そして5時間はしっかり眠り、朝食をしっかり食べる事。まだ、まだ細かい事は沢山あるが、私の場合は単独行動が一番のポイントと思う。走るのは自分の足なのだ。

〈内牧で前泊〉

私の場合は“5時間熟睡する事”が大切なポイントで、3年前にこのコースを完走した時(11時間54分)と同じ様に、内牧で開業している武藤先生の診療所のスタッフルームを借りた。

前日の金曜日はいつもの様に午後5時半まで診療。翌日は“都合により休診”の張り紙を貼って(患者さん!勝手を言ってスイマセン!)単身、

内牧に向かって出発。

車中には、今日の夕食と明日の朝食の「お寿司」、良く冷えたビールに焼酎、ポットには熱いお湯(焼酎と明日のインスタント味噌汁用)、そしていつも寝ているフトンと枕と掛けフトン。

要するに所帯道具一式持参なのである。

夕方7時過ぎ着。早速スタッフルームに籠り、一人酒盛り。明日の戦いのウェアや戦略をチェックしながら飲む焼酎はほど良い精神安定剤になる。食後はちゃんと歯を磨き、フトンに入ったのは9時頃で、翌日の午前2時に目覚ましが鳴るまで熟睡した。

30分程ストレッチをしたり、顔を洗ったりして2時半頃、持参の海苔巻きとインスタントの味噌汁で朝食。当然食欲は全く無いが、消化しやすい様に良く噛んで食べ、3時にすぐ近くの内牧のゴール地点へ車で移動。

〈送りバス〉

ゴール地点の内牧の阿蘇総合センターの駐車場には点々と車内の明かりがとまり、昨日から車やテントで泊まった連中が朝の食事や準備をしていた。写真のバスは選手をスタート地点の「ウイナス」まで送るバスで、7、8台用意され、車中は不安と緊張、興奮で不思議なほど静かであった。



内牧(ゴール地点)からウイナス(出発地点)へ選手を送るバス
午前3時頃

〈スタート前〉

スタート地点のウイナスの大きな体育館の中、午前4時頃のスナップ写真。

練習会も一緒に走り込んできた熊本走ろう会の仲間達とハイポーズ。

不安と緊張、色々な思いが交錯し、皆さんの笑顔がひきつっている。

スタート1時間前に走ろう会の仲間と。中央が私。



〈午前5時のスタート〉

全国各地から集まった100km挑戦の“かなし”のランナーはちょうど500名(内女性51名)。やっと少し空が白みはじめた午前5時、大太鼓の音に送られて、はるか100km先のゴールをめざしてスタート。このうち4割のランナーがリタイアしていった事は神のみぞ知ることである。

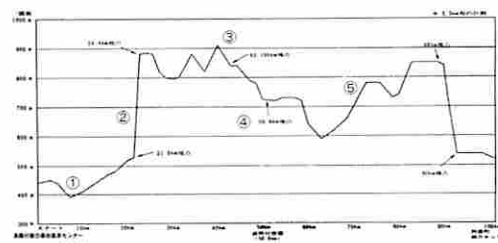
スタート5分前のウイナス。500人も挑戦して行ったが…。



〈100km本番、その5つのポイント〉

下図のコース高低図は2.5km毎の高さの計測値を線で結んだもので、一見アップダウンは7・8ヶ所の様に思われるが、とんでもない!

◆コース高低図



この図で参考になるのは、スタートして25kmまでと、ラストの82kmを過ぎてのゴールまでだけである。

2.5km毎に結ぶ線の間には高低差100m位の

アップダウンが無数にあり、中間の50kmは登っているか、下っているかの繰り返して、坂道の練習をじっくりして挑戦しないと地獄を見る!

〈①のポイント〉

21.9kmの高森までは、ほぼフラットなので、キロ5分ちょっとで走り、2時間でクリアを狙ったが、10分遅れで通過。

〈②のポイント〉

黒岩峠へのとんでもない急坂は、写真を撮りながら25分歩いて登る。写真の私の頭上にははるか上まで登りが続き、アリの行列の様に歩いている人が見える。



高森から黒岩峠まで標高差400mをイッキに登る難所。ほとんどの人が歩いて登る。

〈③のポイント〉

42.195kmは4時間40分を目指したが、途中は強烈なアップダウンの連続で、練習不足がたたなり、予定より20分遅れの5時間丁度だった。

〈④のポイント〉

波野の役場前。着替えの荷物をあらかじめ運んである所で、蕎麦等の食べ物や飲み物が豊富に用意されていた。

ここで着替えて蕎麦を食べ、気合を入れなおして走り出した所に熊本走ろう会の古里さん御夫妻が応援に来られていて、写真をパチリ。

まだまだ元気!

まだまだ元気! 50.8kmすぎの波野の役場前。



〈⑤のポイント〉

50kmをクリアしてからあと半分もあると意識すると徐々に走る気力がにぶって来て、登りではすぐ歩くようになる。この間はゴボウ抜かれで、モーローとして70km地点を通過。ここが地獄の1丁目であった。そして、ここからが私の本当のスタートで、気力、体力、経験の持てるものを全て出し切った真剣勝負となっていった…。

60kmあたりでトライアスロンの仲間と合流。まだ余裕があったが…



〈赤い帽子のオッサン〉

“なんで、なんでモルツは泡まで美味しいんだろう”と言うテレビコマーシャルと同じ様に、モーローとした頭の中で、“なんで70km地点に赤い帽子をかぶった係のオッサンが2人、道を遮る様に居るんだろう?”と思った。

これまで各ポイント毎にして来たようにウエストバックに入れたメモ用紙に通過時間を書き込んで、ふと見たら70kmの関門時間を書いた大きな看板が立て掛けてあり、その時間が14時8分。なんと、わずか2分の差での通過ではないか!

赤帽のオッサンは関門でカットする係の人だった…。

目が覚めた! 気合が入った!

やっと走ろうと本気で思った。走らねばと思った。左膝はなんともないんだから…。

〈関門から関門への綱渡り〉

そこからゴールまでの30kmを4時間6分。

普通に考えれば楽勝であるが、すでに70kmを走り、足腰は鉛を入れたように重く、アップダウンの連続の中の走りだから、私にとっては全速力であった。

80kmの関門通過を目指して、祈るような走りの途中、熊本CTCの仲間の田畑氏がつぶれかけていた。声をかけ励まして、とにかく80kmの関門まで頑張ろうと、動かぬ足をお互い引き摺る様に励ましあいながら走って行った。この辺りになると、つぶれかけている人が殆どで、ゴボウ抜きである。

80km地点の赤帽の関門オッサンの横を4分差ですり抜けた!

〈はるか下方から、あと10分の声〉

通過して安心していたら、長い急な登りに差し掛かり、歩くしかない。しかし、ここでチンタラ歩いていたら、次の90kmの関門がクリア出来ない…と、「奥田先生エ! ガンバァ!」との声。なんとトライアスロンの仲間の飯沼さんが一番バテやすい地点で応援してくれていたのだ!

写真を撮ってもらい、元氣と勇氣まで与えてくれた。



80kmの関門を突破して、つぶれかけた時、応援に来た仲間と逢った。

正面に阿蘇五岳の煌燦像を見ての長い直線道路で、3年前は“ついに此処まで来たんだ 絶対に完走するゾー”と感動の涙があふれた所だったが、今回はそんな余裕は無かった…。

膝が痛くないのだから(60km地点で痛み止め服用)、とにかく前進、今一步、今一步の繰り返しをひたすら続け、ついに象ヶ鼻の急坂を下り始めた頃、はるか下方からマイクで“あと10分”と聞こえてきた。エエーッ、今ちょっと前に87.5kmのエイドを過ぎたばかりで、あと2km以上あるのに10分…とボー然となった!

走った! 走りに走った!

ここまで苦しんで来たのだから、膝がつぶれ

でも良いと、真に全速力でころがり落ちる様に急坂を駆け下った。

結果はなんと不思議なことに関門6分前で辿り着いた!もう嬉しくて嬉しくて、その時に撮ってもらったのが下の写真である。時は16時54分24秒。

90kmの関門を6分前に通過。嬉しくて係の人に写してもらった。



〈ゴールには妻と子が〉

残り10kmの長いこと!回りは足を引き摺って歩いている人が大半である。しかし、3回もギリギリで関門を通過すると、テンションはあがって意外と走れるものである。

苦しんで、もがいてここまで来たのだからーそして、あと少しの辛抱で全てが終わるのだから…。

あと20mでゴール。「もう走らなくていいんだ」と思うと感無量で笑顔があふれ出てくる。



ゴールの内牧には、愛する妻と2人の息子が待っていてくれた。“お父さん遅かったネ”と息子の嬉しい?!一言。

あふれんばかりの喜びの中のゴールだった。100kmに要した時間は13時間14分21秒。関門まであと僅かのギリギリのセーフだった。

〈翌日の打ち上げ大パーティー〉

大会翌日は日曜日で午後1時から坪井の鶴重で20数名集まり、打ち上げの大パーティー。

前日はピカピカに輝いていた精鋭のランナー達が足を引き摺り、“あ痛たた”と座りながら、ビールで乾杯。参加者一人一人自己紹介し、いかに戦ったか、を発表。

皆夫々の地獄を覗き見しての走りの中で、同志としての共感する事が数知れずあり、お互いの仲間意識が高まった集まりで、とても楽しかった。

下の“にやけたツーショット”の写真の女性は、9時間を軽く切って女性1位でゴールされた坂本明子さんで、80km過ぎて疲れがピークになった時には、子供の名を叫び、泣きながら走り抜いたそうです。



自分で自分をほめてあげたい!

ウルトラマラソンはトップもビリも素晴らしいドラマが展開されるから面白い。

戦いが終わって、翌日からどうにか歩けたが、左足は5日間もむくみがとれず、1週間してやっと少し走れるようになった。

阿蘇カルデラは、北のサロマ湖や四万十川に比べて、強力なスポンサーがない為か、かなりマイナーな感じがする。コースとロケーションは世界一ハードで、世界一ダイナミックな景観を楽しめる素晴らしい所だが、地元の盛り上がりは殆ど見られず、猿さえも応援に姿を見せてくれない。しかし、幾多の山坂を越えて完走した達成感は一生涯味わえる。が、

私は当分、走りたくない!

—WATCH OUT—

井芹 明洋

【第1話】



1983年正月、ホノルル空港。私は残ったコインでガムを買おうと、帰国客でごったがえす免税店に入っていた。まるで満員電車の中を移動するかのように人を押し分け、やっとのことで2個のガムを

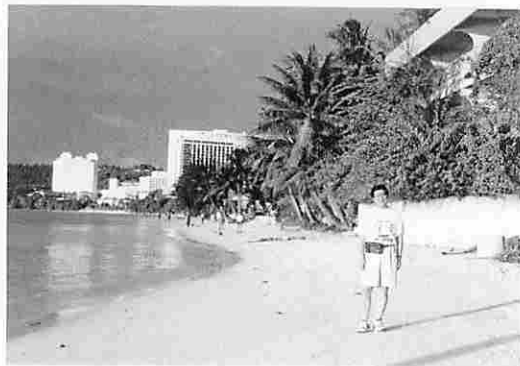
買った。

8時間後、成田空港に無事到着。パスポートを確認し、上着のポケットに置いておいた財布を取り出そうとすると、……ない。手荷物の中を探してもない。帰国便の機内を探してもらうが、やはり……ない。財布の中には、定期券、学生証、それとハワイで皮ジャンを買う予定で持っていた現金7万円。こんな事になるなら買っときゃよかった。後味の悪い正月旅行になってしまった。

それから半年が過ぎたある日、校内放送で「D5の井芹君、学生課まで来て下さい」というアナウンスがあった。友達に「何、やらかしたんだよ」と冷やかされながら、身に覚えのない私はやや不安な思いで学生課に行った。「伊藤忠商事の総務のKさんから、会社に来て下さいと電話があった」とのこと。会ったことも聞いたこともない名前である。何故、私とは全く関係ない一流商社から呼び出されたか、皆目見当もつかない。取り合えず行ってみるか！

青山通りの一等地に伊藤忠商事の本社ビルはある。こんなビルの中、見る機会もないだろうから、見学のつもりで入ってみるか。受付嬢に用件を言うと21階のある部屋に案内された。しばらくすると、恰幅の良い紳士が現れた。「お待

たせしました。Kです」と言って名刺を渡された。部長さんなんだ。偉い人なんだ。「失礼ですが、これ、あなたのですか？」と、前に置かれたものは、なんと半年前に紛失したあの財布ではないか。何故、この部長さんが持っているんだ。「財布の中身を見せて頂いたら、学生証がはいっていたので、大学へご連絡を差し上げたわけで…」「確かに私の財布です」「私どもの会社の前の通りにあるゴミ箱を清掃のおじさんが片づけていたら、この財布が出てきたそうで、多分、この前の会社の人が間違えて捨てたんじゃないかと思って、親切にも私どもの会社に持って来て下さったのです」……。「この財布、ホノルル空港で無くなったものなんです」「え、ハワイのですか？」私も驚いたが、部長さんも随分驚かれた。中身はもちろん皮ジャンを買う予定だった7万円は奇麗に無くなっていた。何故か、学生証だけが入っていた。「こんなことがあるんですね？」。その後、周りにいた社員も集まって来て、みんなで推理ゲームの始まり。犯人は日本人か、それとも外国人か？うちの会社の関係者か？定期券はどうしたのか？何故、学生証を財布の中に残したのか？等々。もうどうだって良いじゃない。7万円が一流商社の見学代になるとは……。



【第2話】

グアム午後5時45分。そろそろ夕食に出かける時間。ホテルの前の4車線道路は、果たしてホテルを出て、左折できるのか？部屋のバルコニーからタクシーが左折して出ていくのを確認して、いざ出発！ラッシュの時間帯とあって、なかなか左折させてくれない。ようやく、一台の車が止まってくれた。パトカーである。「Go ahead」とマイクで言うから、Thank youご親切にどうもという感じで左折した。

その後、次の信号を通り過ぎた瞬間、突然車の後ろが真っ赤に光りだし、サイレンが鳴り始めた。一体何が起こったのか！今度はマイクで何か言い出した。どうも我々のレンタカーに対して警告を発しているようだ。「なんだよ、なんだよ」。路肩に車を寄せると、やっぱりついて来た。一体、何をしたいって言うんだい？運転していたのは家内で、私は助手席に座っていた。10m位後方にパトカーが停止した。2人とも車を出てパトカーに近づこうとすると、警察官は私に向かって『Stay where you are!』と叫んだ。右手は、拳銃にセットされている。ヤバイ、ここ

は外国だ。言われた通りに車に戻り座ると、今度は車外に一人立っている家内に向かって何やら違反したことを説明している。「はあ〜？」警察官は一生懸命、英語で説明している。家内は「わからない」。段々警察官の口調が荒くなってきた。家内は日本語で「何を言っているのかわからな〜い」を繰り返す。

到頭、警察官は諦めたらしくニコッと笑って去っていった。みなさん、海外で警察のご厄介になる場面に出喰わした時は、ヘタに英語で喋ろうとせず、あちらが諦めるまで日本語で喋り捲ることです。



—TRUE VACATION—

尾崎 元則



もうずいぶん以前の話です。当時私は九州歯科大学の第2補綴に入局しており、助手として働いて2年目、大学が春休みに入る頃の話です。当時とは昭和55年の事で忙しかったその年度の仕事に目処が付き、ホッと一息

をつく頃の事でした。雑用や事務で頭がパニックだった私は、自分自身の為に一人だけの慰安旅行を南の島へ、それも海外へ行こうと思い立ちました。“忙しい日本から離れて非日常の世界へ”と言うテーマをたてて貯っていた有給休暇を利用して数日のGUAM小旅行に行こうという事にしました。また旅行の名前もTRUE VACATIONという名称をつけて、本当にコリ性の私でした。

ところで一人でのんびりというのが最初の目的だったのですが、何しろ海外旅行が初めてという当時の私は、一応バックツアーで行く事となり好きだった五十嵐浩晃のテープとウォークマン（CDやMDはまだ存在しない時期でした）を旅の道づれに3時間あまりの飛行機に乗りました。



着いて早々はバックツアーのみなさんと一緒に観光旅行。恋人岬やラテストーン公園、アプガン砦などの市内の観光名所を見て廻る半日ばかりのバスツアーです。名所旧跡もいい事なのですが、はっきり言って全然おもしろくない。何しろ私はここに自分一人の為の休暇にすべてのわずらわしい環境から自分自身を解放する為にきたのだった。バックの人達と一緒に行動しては本当のTRUE VACATIONにはならないと考えた私は、とりあえずバック仲間とはおさらばし、ホテルの部屋で案を練る事になりました。



さて私の使ったホテルはヒルトンインターナ

ショナルグアムというホテルでした。半貧乏人だった私はそこで始めてリゾートホテルの豪華さに圧倒されてしまいました。私の部屋は一人だったにもかかわらずツインの部屋であり、その広さに驚愕。藤でできた家具やベッドの美しさに感激、バスタブのなんと巨大なこと…。“ああ来てよかった”とこのあたりから徐々に調子が出てきたのでした。またこのホテルはタモン湾の端っこに位置しており他のリゾートホテル群とは少し離れた位置にあって閑静であり、また日本人客が少なく外国人客が多いと言うことで非日常を目指した私にはピッタリでした。それではさっそくホテルライフを楽しもうとプールでひと泳ぎ、デッキチェアでタンニング、プールサイドバーでトロピカルドリンク。時間はいくらかでもあり、帰りの飛行機が出るまでまだまだ遙か遠い“こうしてデッキチェアでこんがり丸焼けになるのも極楽だ”五十嵐浩晃も聴けるしね、と何だかよくわからない満足感、開放感にひたっていました。しかしそのうちホテルでごろごろぐずぐずしているのにも飽きてきてもっと積極的にこの島を楽しもうと考え出し外へでかける事にしました。もちろん足が必要だったのでレンタカーを借りることにしましたが、ここでもコリ性の私は日本車はやめてジャガーを借りたのです。黄色いジャガーはスポーツタイプで走り出したら爽快そのもの、今まで見ていた景色が全然ちがってきました。その頃の私は中古車に乗っていて、次の買い換えの時には絶対ジャガーだと誓うのですが後々になっても結局それは叶いませんでした。



ところでこの黄色いジャガーで向かった先は近くのスーパーマーケットめぐりです。GIBSON S. TOWN HOUSE等で商品を手に取り、ああ外国に来たんだなあ実感しながらレジに行く。と何だか余分な金額が加算されています。

“CONSUMPTION TAXってなんだァ?” 当時まだ日本になかった消費税を納得したのは帰国後でした。食料を買い貯めた後市内を見て廻り、少し遠くまで足をのばして人の少ないビーチで

泳いだりと今度は正真正銘一人での休暇が始まったのです。

今考えるとなんともない普通のバックツアーだったのです。だけど初めての海外旅行、それも一人で自由に、という経験はすばらしい思い出となり私の中に残りました。私にとっての一番の旅は、ともしきかれば、この若い頃の旅行の事が浮んでくるし、今も新鮮な思い出となって残っています。

憧れの聖地 Maui

立花 泰裕



“Maui”と聞いて居ても立ってもいられないあなたは、きっと私と同じウィンド・サーファーであろう。Mauiは我々にとって憧れの聖地なのだ。

Mauiは、Hawaii諸島の中で2番目に大きな島で

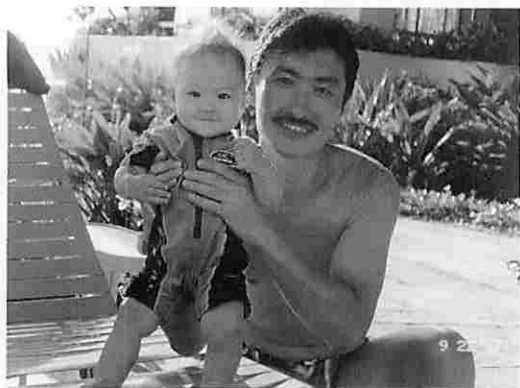
WaikikiがあるOahu島から空路で約40分の所にある。この路線は、日本の乗合バスの感覚で、シーズン・オフであればどの便も空席があり、座席の指定がないので、自分の好きな時間に好きな席に着いて行ける。一応前2～3列はビジネスクラスだが、その必要性は感じない。

Mauiでは、レンタカーで移動する。レンタカー会社は4～5社ぐらいあり、私の選んだところは常時10人ぐらいのスタッフが接客するが、1人に対する時間が異常に長いため、他の客は常に列をなして待つ。自分の車に乗り込むまで約1時間は要す。しかし、誰も文句を言わない。せこせこしないところがアメリカ的であろうか。

レンタカーはアメ車が多く、左ハンドルに慣れないうちは“出発進行、go・go!”と言って浮かれた気分でウインカーを出すと、何故かワイパーが動いて失笑したりする。車はすべて右側通行。ハイウェイの巡行速度は80～100km/h。中央分離帯のない所もあり夜などは結構怖い。また、交差点で曲がる時、思わず反対車線へ突っ込みそうになりあたふたする。まあこれも後で思えば、楽しい旅の思い出と成るのだろう。またレンタカーは、昼間でもエンジンをかけるとライトが点灯したままになり自分では消せない。一種の安全策であろうか、定かでない。



コンドミニウムに着くと、管理人の部屋で“Nice to meet you”といってKeyをもらい自分の部屋へ。コンドミニウムは、ホテルより安価で室内が広くとても開放感があり、調度品は異国情緒を盛り上げる。キッチンも広く、大型冷蔵庫、自動皿洗い器他台所用品や洗濯機などの日用品はすべて装備されている。夜など、近くの大型スーパーで買ってきた牛肉を厚目に切って、塩・コショウだけでジュウジュウ焼いて食べるとこれがとても旨い。ライムを垂らしたコロナビールとポテトがあれば最高。コンドミニウムは、キャンプの感覚が味わえとても気に入っている。



朝、私たちは、ベランダから続く広々とした芝生の向こうにあるプライベートビーチの波の音で目覚め、昨日の旅の疲れも見せずウインド・ギアをレンタルし、待望のカナハ・ビーチへ。そこは、トレードウインド(貿易風)と太陽の光に満ち溢れた楽園。2人とも、子守りをしながら思う存分風と波に身を任せて至福の時を過ごす。

そんな充実した日は、体中くたくたなのに顔は緩みっぱなし。時にウインド・ギアが壊れて流されても、ビーチに向って泳ぎながらMauiを実感し、海中には何が潜んでいるか解からないのに心はウキウキしている。

午後5時に海から上がり、目指すは巨大ショッピングセンター街へ。妻・貴子は、ウインドウ・ショッピングにも目がない。海の疲れは何処吹く風で、ニコニコしながら広い店内を元気に歩いていく。私は、近くのベンチでリラックス。その

後、食事をして、長女・そら(1.6才)と遊んで爆睡する。こんな日が数日続くと段々日本へ帰りたくなる。

風のない日は、サーフィン、シュノーケリング、世界最大級の休火山ハレアカラ山頂から自転車で一気に下るバイク・ツアー、イルカ・ホエール・ウォッチングツアー、他観光等やる事は無限にある。日曜日の早朝フリーマーケットなどに、地元の人に混って参加するのもおつなものである。このようにMauiは、観光化されていない自然との触れ合いの出来るのんびりとした島で、つい長居をしてしまいそうな素晴らしい楽園である。また行ける日を楽しみにしたい。



最後に、ウインド・サーフィンに初めて誘ってくれた、武蔵ヶ丘の友枝和夫先生、並びに旅の魅力を教えてくれた坪井の大嶋健一先生に、この場を借りて深くお礼を申し上げます。また一緒に遊びましょう。

新人です!よろしくお願ひします

新 入 会 員 紹 介



氏 名 宇 治 保 義

住 所

(自 宅) 熊本市秋津 2 丁目 4 -22 ロイヤルハynes303号

電話 096-369-8825

(診療所) 熊本市沼山津 4 丁目 1 -22 小楠歯科医院

電話 096-360-0826

生年月日 昭和27年10月19日

趣 味 ゴルフ (月に1回)

好きな言葉 安全確實

経 歴 昭和55年3月 福岡歯科大学卒業

昭和55年6月 熊大病院歯科口腔外科入局

平成10年3月 同上退職

平成10年5月 小楠歯科医院開院

家 族 母親、妻、長女 (高1)、次女 (小6) と私の5人家族です。



スポーツの広場



トーナメントゴルフ会

平成10年4月26日

	O	I	G	H	N
優勝 中根俊吾	38	45	83	12	71
2位 大森秀則	46	47	93	21	72
3位 河野敬明	44	43	87	15	72
4位 古賀 明	40	45	85	12	73
5位 宮崎幸一	41	47	88	13	75
B B 谷川貞男	46	46	92	7	85

17名

平成10年5月17日

	O	I	G	H	N
優勝 大嶋健一	39	44	83	10	73
2位 渡辺 博	39	42	81	7	74
3位 本田 亘	44	43	87	12	75
4位 内田 隆	42	45	87	10	77
5位 中島義和	43	41	84	7	77
B B 神戸 威	55	51	106	12	94

空港カントリー

20名

平成10年5月24日

	O	I	G	H	N
優勝 大森秀則	43	42	85	21	64
2位 川瀬博美	47	52	99	34	65
3位 合沢康生	40	40	80	13	67
4位 内田 隆	37	43	80	11	69
5位 谷川貞男	40	40	80	7	73
B B 奈良健一	46	49	95	12	83

15名

平成10年6月28日

	O	I	G	H	N
優勝 藤岡憲昭	39	43	82	16	66
2位 大嶋健一	41	39	80	8	72
3位 松本光示	36	43	79	5	74
4位 中島隆志	49	42	91	14	77
5位 稲葉逸郎	46	41	87	9	78
B B 坂梨常太郎	48	52	100	10	90

15名

平成10年6月21日

	O	I	G	H	N
優勝 河合隆一	48	43	91	22	69
2位 本田治夫	44	45	89	15	74
3位 谷川貞男	40	41	81	7	74
4位 青木群育	49	49	98	22	76
5位 奈良健一	43	47	90	12	78
B B 合沢康生	44	46	90	8	82

8名

空港デンタル会

平成10年8月2日

	O	I	G	H	N
優勝 坂梨常太郎	41	43	84	12.0	72.0
2位 小田和人	47	41	88	14.4	73.6
3位 稲葉逸郎	41	41	82	7.2	74.8
4位 中島義和	42	40	82	7.2	74.8
5位 松本光示	40	41	81	6.0	75.0
B B 中根俊吾	50	54	104	16.8	87.2

ダブルベリア方式

16名

熊本デンタル会

平成10年4月19日

	O	I	G	H	N
優勝 田中弥信	50	50	100	30	70
2位 三笥 司	36	45	81	10	71
3位 木村義浩	41	47	88	15	73
4位 渡辺 洋	48	49	97	24	73
5位 大嶋健一	43	40	83	10	73
B B 内田 隆	51	47	98	10	88

空港カントリー

21名

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
6月22日	第118回理事会(会務、庶務、委員会報告、協議)
7月24日	第119回理事会(〃)
8月26日	第120回理事会(〃)

医 療 管 理 委 員 会

月 日	協 議 題
6月18日	産業廃棄物処理実績報告書相談会 熊本市職員及び家族の歯科健康診査実施要領、健康診査票について スタッフセミナー(接遇)のうちあわせ 三歯会のうちあわせ
6月25日	三歯会座談会
7月28日	国立熊本病院開放型病院連絡会 副作用(院内掲示用)ポスター 後方支援病院ステッカー最終校正

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
5月29日	熊本市企業健診について
6月30日	学術ビデオ選定 学校保健会報告
7月31日	歯磨巡回指導について

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
6月11日	学術研修会打ち合わせ
7月29日	9月の学術研修会について
8月20日	第3回学術研修会

厚生委員会

月 日	協 議 題
5月29日	親睦会と入院入所者の集計
6月16日	ピアパーティーと入院入所者の集計
6月23日	ピアパーティーと入院入所者の集計
7月18日	ピアパーティーの反省、入院入所者の集計
8月24日	入院入所者の集計

社保委員会

月 日	協 議 題
5月27日	在宅協力医研修会についての連絡
	訪問歯科診療のカルテ記載についての検討
6月10日	訪問歯科診療のカルテ記載についての検討
6月17日	保険医療機関等に対する指導及び監査の取り扱いについての内容確認
7月 3日	在宅診療の記載例の校正
7月15日	訪問診療カルテ記載例の最終検討
	九州各県の社保担当学会議の内容検討レセプト問題点検討
8月25日	訪問診療のカルテ記載例

公衆衛生委員会

月 日	協 議 題
6月17日	歯の衛生週間の反省
7月22日	幼稚園フッ素塗布その他
8月20日	健康フェスティバル

広報委員会

月 日	協 議 題
5月25日	中岳101号編集会議
	かわら版6月号編集会議
6月 8日	中岳101号第1回校正
6月15日	中岳101号第2回校正
6月26日	中岳101号第3回校正
	かわら版7月号編集会議
7月27日	かわら版8月号編集会議
8月28日	中岳102号編集会議
	かわら版9月号編集会議

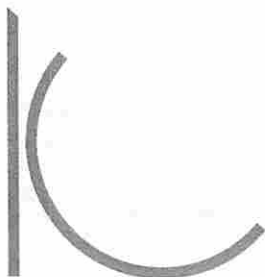
～ 協同組合だより ～

レセプト・医院事務用品印刷販売のご案内

商 品 名		販 売 価 格
(レセプト)		
コンピューター用	100枚	700
手書き用	一般	350
100枚〔50／100・老人〕		390
(経理・検査諸書類)		
領収書	50枚	200
収支日計表	100枚	500
患者日計表	100枚	500
歯科経理帳	30組	840
歯科予診録	100枚	330
歯周精密検査表	50枚	650
歯科衛生士業務記録	50枚	170
口腔衛生指導	100枚	260
有床義歯指導	100枚	270
紹介状	100枚	550
1型ペリオ検査表	20組	320
補綴物維持管理情報提供用紙		
	1,000枚	1,500

商品の御用命・問い合わせは協同組合事務局（TEL 096-343-6400）まで

技術と信頼がテーマです



DENTAL LABORATORY AISHI

株式
会社 愛 歯

〒860 熊本県大津町4丁目2番42号
Phone. 096-343-5839 Fax. 096-343-5105

YOSHIDA

ヨシダの レーザー。

レーザー治療を、より身近にする一台です。

従来のレーザー装置を大きく下回る低価格を実現した、
ヨシダの歯科用炭酸ガスレーザー手術装置【オペレーザ-03S】。
操作性や安全性の高さはもちろん、定期交換が不要なマニピュレーターを採用することで、
低ランニングコストも実現しました。

標準医院価格 ¥4,780,000(消費税抜き)



効果・効能 ● 生体組織の切開、止血、凝固及び蒸散仕様
● レーザーの種類 炭酸ガスレーザー ● レーザー発振波長 /
10.6 μm ● レーザー出力 0.5~5W / 0.1Wステップ ● タイマー動作 /
0.1~1.0秒 / 0.1秒ステップ / リビッドパルス ● 連続 ● 焦点径 φ0.2mm ● 冷却
方式 水冷循環式 ● 定格電力 AC100V、50/60Hz、250VA ● 外形寸法 / コントロール
部 (床面積) 378×316mm 高さ 964mm 装置全体 高さ 1,150mm 重量 40kg 安全機構
● 照射表示 (表示ランプ) 緑 ● 及び警告ブザー ● 装置自動・キースイッチ ● 本体カバー・インターロ
ックスイッチ付 ● レーザー照射 / フォトコントロール 2段スイッチ付 ● 異常表示 / 冷却水異常、シャッター
異常標準セット内容 ● 本体 / アシストエア付 / マニピュレーター部 < 歯科用 / 60° / ハンドピース1本付 / 先端
チップ5本 / フットスイッチ / 保護メガネ3個 ● 承認番号 05B 第0677号 □ 臨床応用ビデオをご用意しています。

Opelaser 03S

歯科用炭酸ガスレーザー手術装置
【オペレーザ-03S】



オペレーザ-03Sに関するお問い合わせは ● 発売元 株式会社ヨシダ 機械事業部レーザー課 TEL 03-3845-2941(代)
製造元 株式会社吉田製作所 レーザー機器販売部

編集後記

今年の夏は熱帯夜続きでほんとに暑かったですね。9月になり朝夕少しは涼しくなったと思いきや、もうお彼岸というのに真夏に戻ったような気温で、なかなか夏バテが回復しません。

7月以降の日照りのため農作物にも旱ばつの被害がでているようで、地域のみかん農家の方々は夜遅くまで灌水をされています。みかんの木も水不足で弱っているが、世話をしている人間も枯れかかっていると冗談めいておっしゃっていました。

灌水で忙しいためか8月以降患者さんが減少傾向で、当歯科の経営のためにも恵みの雨が欲しいところです。

< T. H >

熊本市歯科医師会会誌

第 102 号

発行日 平成10年9月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行
責任者 関 剛 一

印刷所 株式会社 ハタノ

熊本市上熊本2丁目1-30

TEL096-356-6433 FAX096-311-1388